

第4回アジア・太平洋水サミットの 開催準備状況について

(1) 第4回アジア・太平洋水サミット(4thAPWS)について

第1回アジア・太平洋水サミット
(2007年大分県別府市)



福田総理大臣 (当時)

皇太子殿下 (当時)

◆サミットの目的 : アジア太平洋地域(49カ国)の首脳級を含むハイレベルを対象とし水問題に対する認識を深め、具体的な資源動員や行動を促す。

◆第4回サミットの開催趣旨 :

- 「持続可能な発展のための水～実践と継承～」というテーマの下での各国首脳級を含むハイレベルによる議論の成果を、水関係のSDGs達成に向けた「水の国際行動10年」中間レビューに関する国連水会議(2023年3月)に反映するなど、SDGsの達成に大きく寄与。
- 開催地となる本市は、地下水の保全など健全な水循環の観点から優れた取組を行っていること、2016年の熊本地震からの復旧・復興が進捗していることから、サミットが熊本市で開催されることは有意義と捉えている。

◆日 程 : 令和4年(2022年)4月23日(土)～24日(日)

※当初は2020年10月19日～20日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により延期

◆会 場 : 熊本城ホール(熊本県熊本市)

※対面・オンライン等の開催形式は検討中。

※今後新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて開催形式を決定する。

◆主催者 : アジア・太平洋水フォーラム 及び 熊本市

- アジア・太平洋水フォーラムは、日本主導で成立したアジア・太平洋地域の水問題に取り組むネットワーク組織(会長:森喜朗元内閣総理大臣)
- 関係省庁が協力することを平成31年(2019年)3月26日に閣議了承

◆過去の開催状況(これまで3回開催)

- ・1st APWS 大分県別府市 2007年12月
- ・2nd APWS タイ・チェンマイ 2013年5月
- ・3rd APWS ミャンマー・ヤンゴン 2017年12月

(2) 第4回アジア・太平洋水サミット (4thAPWS) 開催までの経緯

(開催までの経緯)

○平成31年(2019年)1月11日

第4回アジア・太平洋水サミットの開催地(熊本市)と開催日程(2020年10月19日~20日)に決定・公表。(第23回アジア・太平洋水フォーラム執行審議会にて)

○平成31年(2019年)2月19日

共催者であるアジア・太平洋水フォーラム(事務局:日本水フォーラム(JWF))と基本合意書締結

○平成31年(2019年)3月26日

関係行政機関(関係省庁※)の協力を求める閣議了解

※関係7省(国土交通省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省)

○平成31年(2019年)4月1日

熊本市 環境局 水保全課内に「アジア・太平洋水サミット推進室」を設置

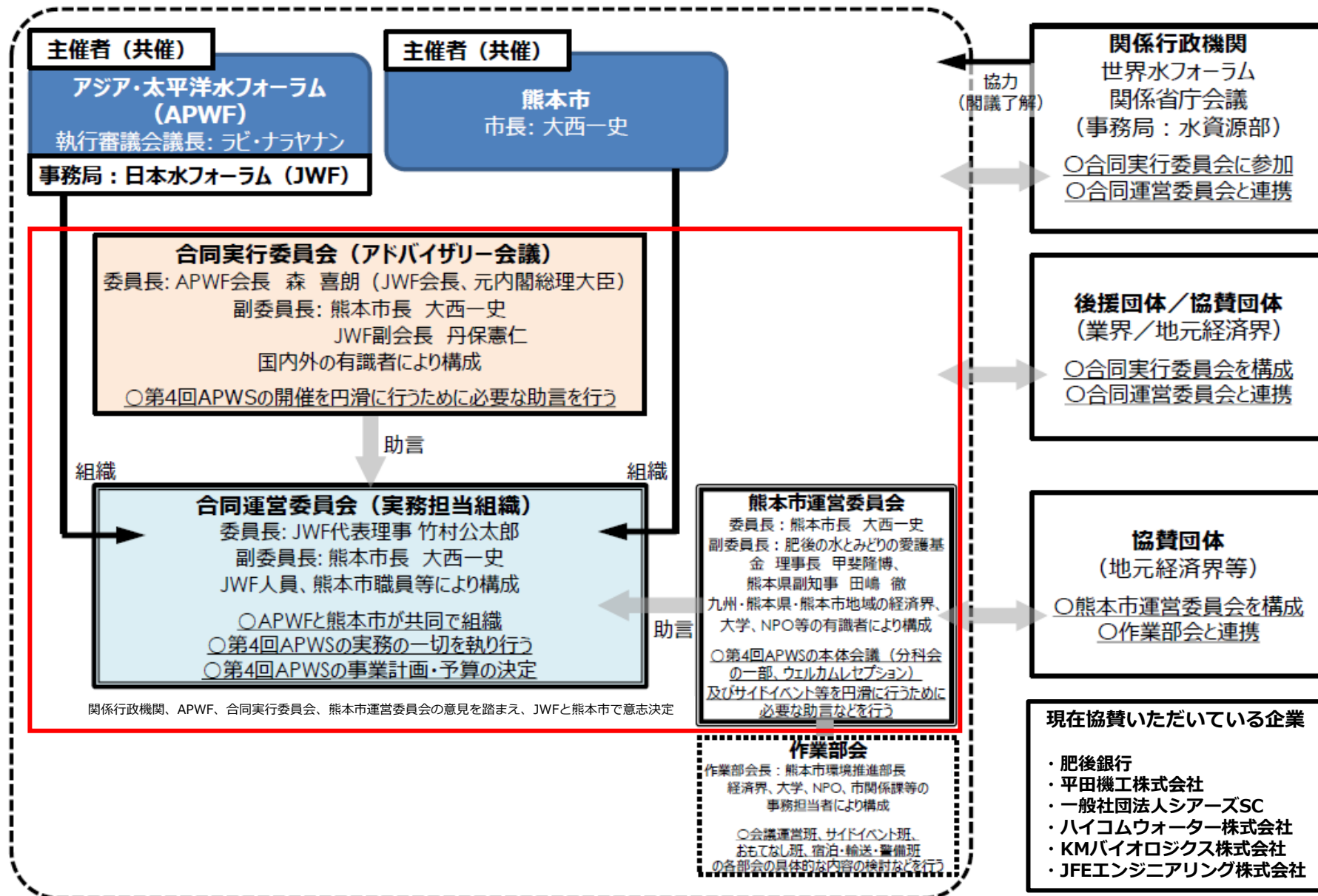
○令和2年(2020年)4月22日

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、4thAPWSの延期を公表

○令和2年(2020年)10月1日

新たな日程(令和4年(2022年)4月23日(土)~24日(日))に関する覚書の締結

(3) 第4回アジア・太平洋水サミット (4thAPWS) の実行体制



(4) プログラム(案)

1日目:4月23日(土)

時間	内容			
10:00~11:30	開会式(開会挨拶、ビデオメッセージ、開催都市挨拶、記念講演など)			
11:30~13:00	昼食			
13:00~13:10	議長、副議長、書記任命 アジェンダの採択			
13:10~14:40	首脳級会合(参加者によるスピーチ、「熊本宣言」発出)			
14:40~15:10	コーヒースタイル			
15:10~16:40	キックオフセッション	分科会1	分科会2	分科会3
16:40~17:10	コーヒースタイル			
17:10~18:40	ハイレベルステートメント	分科会4	分科会5	分科会6

2日目:4月24日(日)

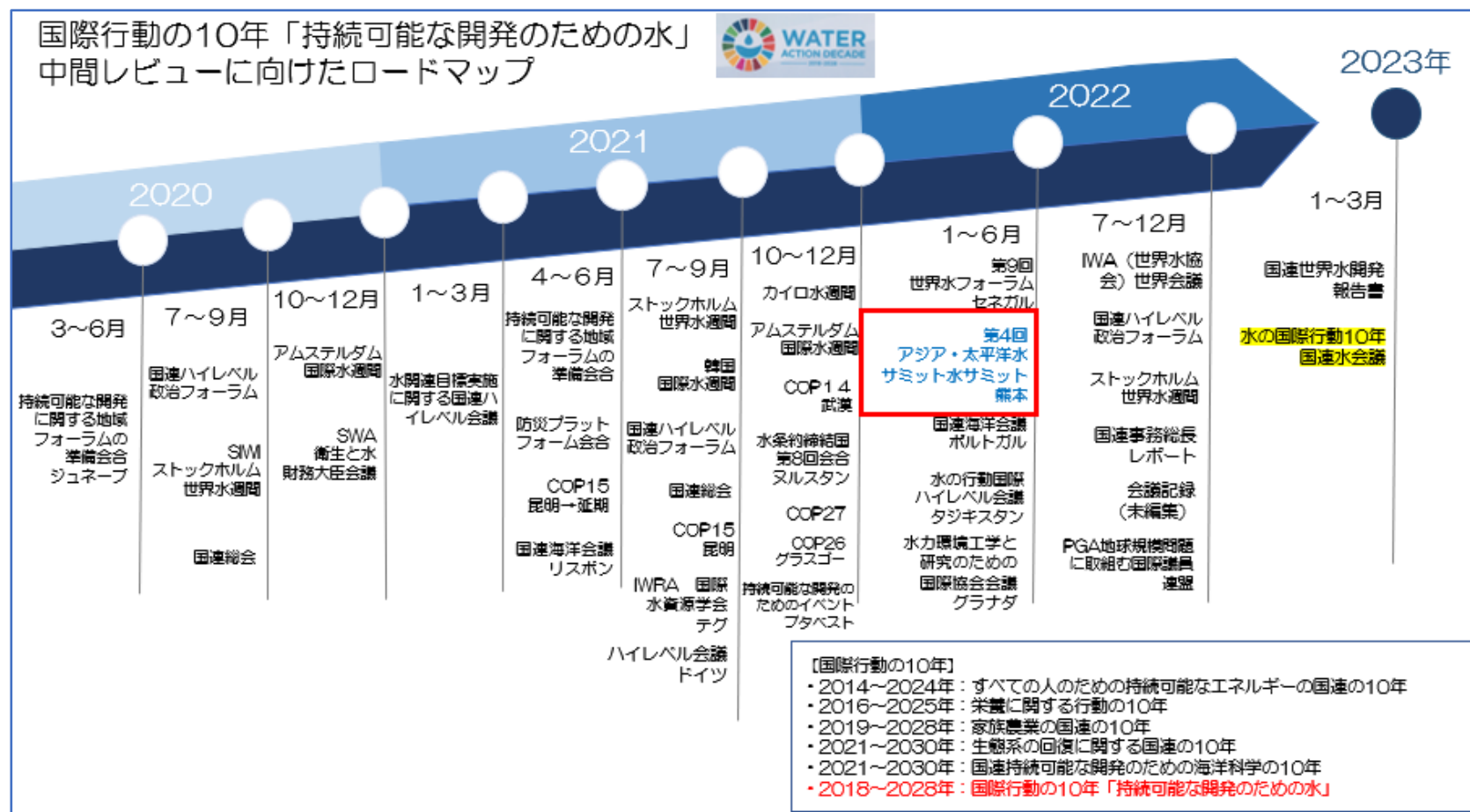
11:00～12:30	ハイレベルステートメント	分科会7	分科会8	分科会9
12:30～14:00	昼食			
14:00～15:30	統合セッション1	統合セッション2	統合セッション3	
15:30～16:00	コーヒースタイル			
16:00～17:30	統合セッション4			
17:30～18:00	コーヒースタイル			
18:00～19:00	閉会式（セッション報告、議長サマリー読み上げ、閉会挨拶など）			

※サイドイベント:(シンポジウム)は1日目午後から2日目午後まで10コマ開催予定。(展示会)は1日目午前~2日目午後まで開催予定。

(5) 第4回アジア・太平洋水サミットの新たな位置づけ

- 「持続可能な発展のための水～実践と継承～」というテーマの下での各国首脳級を含むハイレベルによる議論の成果を、国連の「持続可能な開発のための水の国際行動の10年」の中間年にあたる2023年に開催予定の「国連水会議」に反映する。

【ロードマップ】(国連公表資料、熊本市で和訳)



(6) 開催形式について

開催形式については、熊本市と共催者であるアジア・太平洋水フォーラム（事務局：日本水フォーラム）としては、新型コロナウイルスの感染状況を見極めつつ、関係省庁と協議のうえ、リアル（対面式）開催（＋一部オンライン）に向け準備を進めている。

なお、開催形式の判断については、令和4年（2022年）1月中旬を目途に決定する。

リアル（対面式）開催

【海外】 来日参加、一部はオンライン

【国内】 日本人（VIP、一般参加者）は熊本での参加

(7) 新型コロナウイルス感染症対策について

第4回アジア・太平洋水サミットにおける新型コロナウイルス感染症対策として、対応方針を定め、その実施にあたり体制を強化し、万全の準備を整えていく。

【基本的な対応方針】

1. 入国時の防疫措置等に関する国との連携、調整
2. 福岡空港及び福岡のホテル利用に関する福岡県、福岡市との協議、調整
3. 熊本市における体制構築
4. 関連事業者への感染拡大防止対策の徹底
5. 専門家会議からの助言

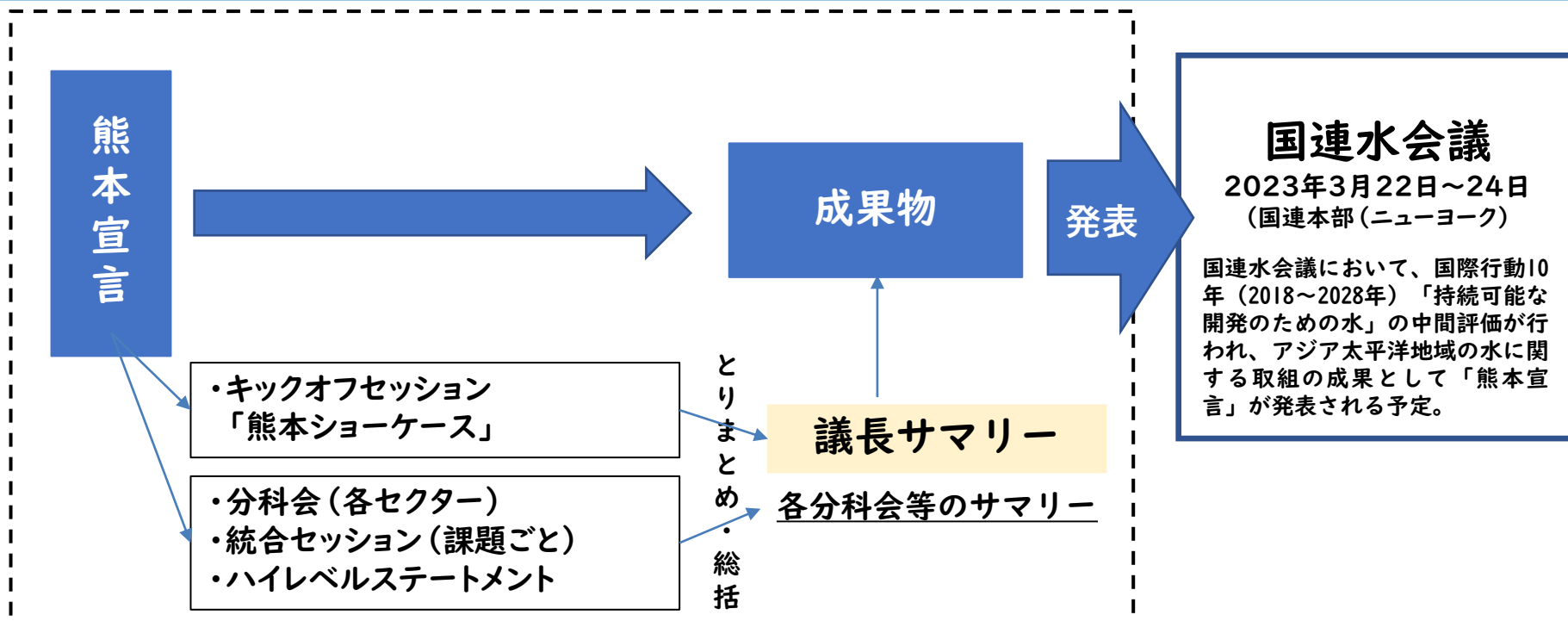
【体制強化】

本市においては、専門的な知識、経験を有する人員の配置を行い、庁内横断的に新型コロナウイルス感染症対策を実施するため「熊本市感染対策タスクフォース」を令和3年（2021年）11月1日付けで立ち上げている。

熊本市感染対策タスクフォース 13名（環境局、政策局、健康福祉局、市民病院）

(8)「熊本宣言」について

- アジア太平洋地域のリーダーが、行政区域を越え、多様な関係者の連携により、流域で健全な水循環の維持、回復を実践している熊本市において、水問題解決に向けた決意として世界に向けて宣言するもの。
- サミット1日目に最終議論・採択。熊本宣言を受けて、各行動の実施に関する分科会、分野横断統合セッションを開催



(9) キックオフセッションについて

アジア太平洋の代表地域の特徴的かつ具体的な取組を紹介することで、サミットのアウトプットに説得性を持たせることを狙いとして、大西市長が熊本市の地下水保全の取組・流域治水などについて「熊本ショーケース」として発表する。

(10) 分科会について

- ・分野ごとに9つのテーマを設定し、それぞれにおいて、アジア太平洋地域における事例、教訓等を挙げつつ、質の高い成長を確保するために配慮すべき事項を分科会として議論する。

- ・分科会の分野は、関係省庁等のうち、中核的な役割を果たす組織を想定しており、一般公募はしない。

【テーマ】

1 水と災害/気候変動

2 水と食料 ※エネルギー等、他セクターとのネクサスも

3 水供給（安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセス）

4 適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセス、及び、水質改善

5 水と環境 ※持続可能なダム開発・運用と河川流域生態系保全のバランス、自然を活かした解決策に関する議論を想定

6 水と文化と平和

7 水と貧困/ジェンダー

8 地下水を含む健全な水循環 ※地下水フォーカス

9 ユースによるリーダーシップ、イノベーションを通じた多様な利害関係者間の協働

(11) サイドイベント(シンポジウム)について

- ・「市民への意識啓発、知見の共有」を目的に、外部に公開され、誰でも参加・聴講可能。

- ・今後公募(11月下旬～国内外)し、先着順に決定予定。※当日開催の枠は10枠予定。

- ・サイドイベントの開催方法などについては、公募の際のガイドラインにおいて提示する予定。

- ・現在、参加を希望されている団体から6企画の提案があっている。

① 熊本の水循環（熊本県・市、(公財)くまもと地下水財団、(公財)肥後の水とみどりの愛護基金)

② 海洋プラ問題（海と日本プロジェクト）

③ (仮) 熊本地震、水災害からの復興（九州地方整備局熊本河川国道事務所）

④ 次世代からの発信（熊本青年会議所、国際学生会議所）

⑤ 題未定（九州水フォーラム）

⑥ グリーンインフラに寄与する森林の機能と役割（林野庁）

(12) サイドイベント(展示会)について

- ・サミット開催に合わせて、水などに関する技術、製品、取組などを紹介する現地展示会とオンライン展示会を実施。

(13)おもてなし及び広報について

○都市装飾

目的

- 熊本城ホール周辺、市役所本庁舎・アーケードエリアなどに広告掲載や看板を設置し、県民・市民が当該サミットを目にする機会を増やすことで、認知度の向上を図るとともに、歓迎ムードの演出につなげる。
- また、同時期に開催される緑化フェアと連携した、歓迎装飾等を実施する。

中心市街地等装飾

令和4年(2022年)2月～4月末

※アーケード内の看板設置は、3月より実施、ビジョンは、3月末より実施。

緑化と連携予定

■主な装飾場所

エリア	設置場所	装飾アイテム	期間	備考
水道町～熊本城ホール	水道町～幸島町の街灯(85枚)	フラッグ	3ヶ月間	
市役所・アーケード	上(1)、下(3)、新(1) 計5ヶ所他	看板等	2ヶ月間	
	COCOSA前、WAOVISION(通町筋)、WAOVISION(新市街)	ビジョン	1ヶ月間	
	熊日びぶれす(NEW-S館)	看板	3ヶ月間	
	市役所(市庁舎3階外壁等)	横断幕等	3ヶ月間	
	鶴屋(南側・通り)	懸垂幕等	3ヶ月間	
熊本城・サクラマチ	城彩苑(南御門入口・御幸坂等)	看板等	3ヶ月間	
	サクラマチ商業施設内等	デジタルサイネージ等	3ヶ月間	
市電・停留所等	市電・停留所(7ヶ所)	横断幕	3ヶ月間	
	主要ホテル(5ヶ所)	ビッチ看板	3ヶ月間	
熊本駅、熊本空港等【熊本空港】	到着口 他	看板等	3ヶ月間	
熊本駅、熊本空港等【熊本駅】	熊本駅(ストーリービジョン等)	デジタルサイネージ等	3ヶ月間	

都市緑化くまもとフェアとの連携

場所:市庁舎3階外壁における横断幕設置など

期間:令和3年(2021年)11月中旬～
令和4年(2022年)4月24日



○エクスカーション

目的

※首脳・閣僚級に対しては個別に対応予定
※海外メディアについては、上記プログラムを利用し対応予定

- ・首脳・閣僚級・要人の同伴者や一般参加者等に対し、熊本の地下水が育む豊かな「自然」や「文化」を体験してもらうことにより熊本の魅力を世界へ発信するとともに、地震から着実に復興している姿を発信することで、参加者の記憶に深く残るサミットを目指す。

対象者	実施期間	参加定員	予約方法	コースプラン	主な訪問先（仮）
同伴者プログラム	令和4年（2022年） 4月22日、23日	10人	随時	熊本及び日本の伝統文化に触れるツアー（お茶、能楽鑑賞、着付け体験ほか）	・熊本城 ・緑化フェア会場（動植物園エリア）など
一般参加者（日本人含む）	令和4年（2022年） 4月22日、23日、24日	100人	事前予約	《テーマ：熊本の魅力発信》 ・熊本の遊水池や地下水保全の取組を見学するコース ・熊本市内の水関係施設を巡りながら、水循環を学べるコース ・古来から引き継がれた熊本の伝統文化を探访するコース	・白川水源 ・健軍水源池 ・水前寺成趣園（お茶体験） ・東部浄化センター ・緑化フェア会場（動植物園エリア）
				《テーマ：熊本地震からの復興》 ・震災復興のシンボルである熊本城をはじめ、県内の被災地を巡るコース	・熊本城 ・旧東海大学阿蘇キャンパス ・水前寺成趣園（お茶体験）

○気運醸成イベント

開催時期	イベント	目的	テーマ	参加人数	備考
2021年 4月24日（土）	サミット開催1年前イベント	・決起集会 ・気運醸成	世界の水の現状等	約200人	市内高校4校参加（パネル討議）
2021年 8月1日（日）	水の日イベント	・気運醸成	地下水と農業（仮）	・約200人（ステージ） ・約2000人（路上イベント）	・地下水財団との共催 ・熊本城ライトアップ等
2021年 11月	①水の国高校生フォーラム ②路上イベント等	・気運醸成 ・サミット参画への促進	SDG s 関連	①約250人 ②約3,000人	①主催：水の国高校生フォーラム実行委員会 ②別日程・別会場にて：事業者（イオン、無印）とのコラボイベント実施。また他課主催イベントにおけるパネル展示やチラシ配布
2022年 1月or2月	開催イヤーシンポジウム	・サミット参画への促進 ・レガシー継承に向けて	水の未来に向けて（仮）	約200人	・水関連団体